昭和村 議会だより

第59号
平成23年4月25日　3月定例会
＜群馬県昭和村議会＞

2・3　平成23年度予算
4・5　3月定例会で決めたこと
8～12　村の姿勢を問う

第1保育園入園式

平成23年度

昭和村予算

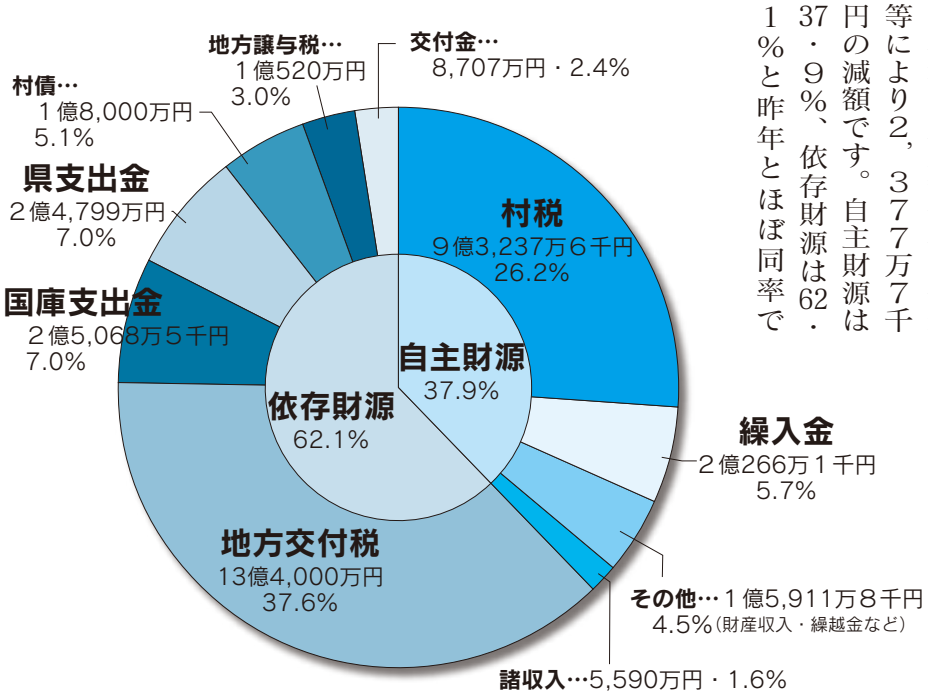
3月定例会において、平成23年度一般会計予算案・特別会計予算案が提出され、全て原案のとおり可決しました。

一般会計予算（前年度比2.4%増）

35億6,100万円

歳入

村税は農産物価格の低迷等により2，377万7千円の減額です。自主財源は37・9%、依存財源は62・1%と昨年とほぼ同率です。厳しい財政状況に変わりはなく節度ある財政運営が必要です。

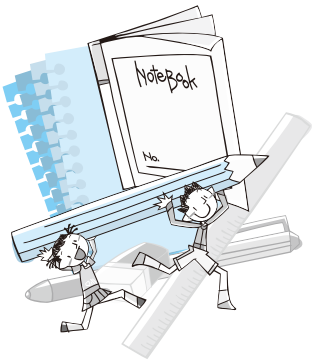


今年度の主な事業

保健衛生費　○予防接種事業（Ｈｉｂワクチン、子宮頸がん予防ワクチン、小児・成人肺炎球菌ワクチンなど）

農林水産業費　○道の駅事業
○野菜振興事業

土木費　○村道永井桜線道路改良事業

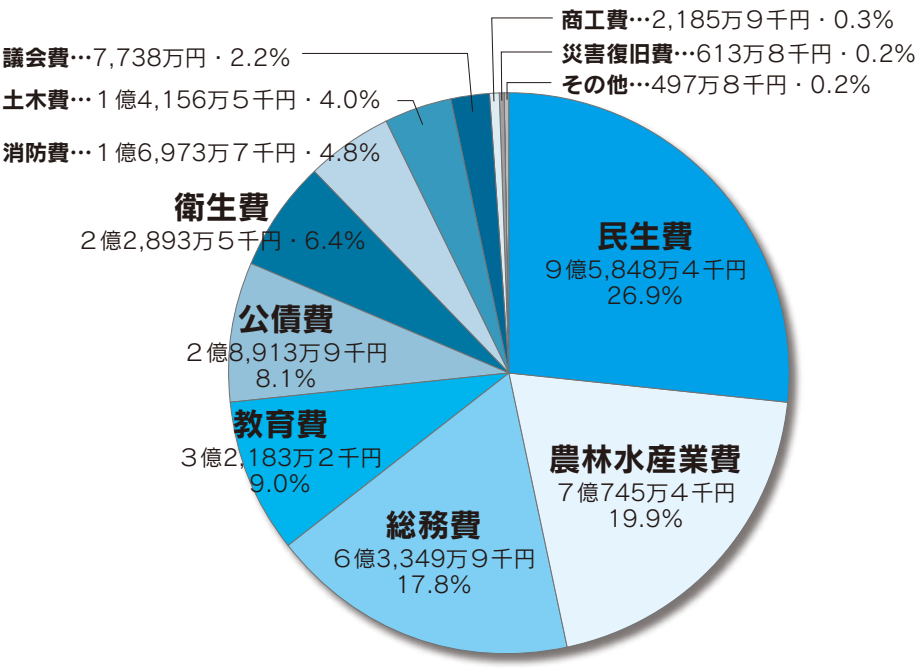


教育費　○小学校で外国語（英語）授業が開始されます

厳しい財政状況の中、道の駅オープン等活気ある元気な村づくりを目指して！

歳出

義務的経費が42％と比率が高く、投資的経費は３・７％と昨年度よりも減少する中、道の駅オープンに向け９千９百３万円を予算化しました。また、その他の経費が54・３％となっており、各種事業については少ない予算を有効に活用し、経費の削減に努め、引き続き財政健全化を進めなければなりません。



予算総額 57億1,199万8千円で船出

特別会計予算（前年度比0.1％増）

総額 21億5,099万8千円

国民健康保険特別会計	10億6,158万２千円	（526万８千円増）
老人保健特別会計（平成22年度で廃止）	０千円	（155万７千円減）
簡易水道事業特別会計	１億678万８千円	（103万８千円増）
農業集落排水事業特別会計	３億1,100万円	（3,136万円減）
介護保険特別会計	６億236万３千円	（2,673万９千円増）
後期高齢者医療特別会計	6,926万５千円	（297万９千円増）

（カッコ内の数字は前年度比）

「定例会」

野菜王国・群馬の充実をめざし対策を強化！

3月定例会

今定例会は3月3日から3月11日の会期9日間の予定でしたが、東北地方太平洋沖地震により会期を3日間延長し、12日間の14日まで開催されました。

村長より行政報告があり、その後提出された昭和村道の駅条例の制定、平成23年度一般会計・特別会計当初予算案等を含む24議案について慎重審議した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

最終日の一般質問では、6人の議員が村長の答弁を求めました。

専決処分

一般会計補正予算（第7号）

54万円追加

総額

38億4千769万5千円

（全員賛成）

条例一部改正等

外国の地方公共団体の機関等に派遣される職員の処遇等に関する条例の一部改正

外国の地方公共団体の機関等に派遣される一般職員の派遣期間中の給与年額と、派遣先機関からの報酬年額との合計が、外務公務員給与に相当する給与年額を超えることのない改正。

（全員賛成）

昭和村職員の給与に関する条例等の一部改正

人事院規則により職員の勤務時間、休日等の一部改正主なものは給料の半額規定と結核性疾患による特例休暇が廃止の旨の改正。

（全員賛成）

昭和村職員の育児休業等に関する条例の一部改正

主な改正内容は非常勤職員の育児休業、部分休業及び介護休業について任用状況による旨の改正。

（賛成多数）

昭和村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

地方税法の改正により、応益割合にかかわらず国民健康保険税の減額、軽減率を6割及び4割軽減から7割、5割及び2割軽減に変更。

軽減判定所得が33万円を超えない世帯では6割軽から7割に軽減に第2号は、軽減判定所得が33万円に被保険者及び特定同一世帯所属者1人につき24万5千円を加算した金額を超えない世帯に係る納税義務者は4割軽減から5割軽減に変更する旨の改正。

（全員賛成）

昭和村道の駅条例の制定

「旬菜館」を核に新たに「道の駅」を整備し設置管理条例の制定。道の駅は道路利用者への良好な休憩の場の提供や地域情報の発信や村民と来訪者との交流をはかり農産物や加工品等の特産品の振興、地場産業の振興に寄与し、「あぐりーむ館」の管理運営については民間活力を活用して指定管理者制度を導入した。

（全員賛成）

昭和村農産物処理加工施設飛躍の設置及び管理に関する条例の全部を改正する条例

平成9年に村で整備し、「さくら工房」に管理委託をしていた昭和村農産物処理加工施設「飛躍」を地方自治法第244条の2の規定により、改めて「指定管理者による管理」にするものです。

（全員賛成）

昭和村農産物直売所施設整備事業分担金徴収条例を廃止する条例

昭和村農産物直売所施設整備事業の施行により、特に利益を得るものから分担金を徴収することを規定したもので、目的の終了や地方自治法の改正により指定管理者制度が規定され本条例を廃止とするものである。

（賛成多数）

昭和村小口資金融資促進条例の一部改正する条例

平成20年10月から実施してきた緊急保証制度は平成23年4月以降は延長を行わないことから中小企業の借り換えに支障がでる可能性があり資金繰りが懸念される、県では返済負担軽減策として平成22年度以前に融資されたものを対象に制度要綱で定めた融資期間を最長3年間延長が行える

様「融資期間延長の特別措置」を実施。
平成15年実施している借り換え制度・平成21年12月24日から実施している、借り換え条件の緩和については継続することに伴う改正である。（全員賛成）

補正予算

一般会計（第８号）
１億１千５８７万４千円追加し39億６千３５６万９千円とするものです。

補正の主な内容

歳入
普通交付税
６千４４８万３千円
国庫支出金
４千７１３万７千円
繰入金
△７千９８７万６千円
繰越金
４千６２５万８千円
村債
２千５２０万円

歳出
総務費
財政調整基金積立金
７千３９６万４千円
企画費
道の駅トイレ大型車駐車場整備等
２千２２２万３千円
農林水産業費
「野菜王国・群馬」強化対策事業
１千３９９万７千円
土木費橋梁維持費
橋梁維持費
１７１万６千円
公債費　元金
県資金貸付金（給食センター建設事業）
５千４７７万８千円
（全員賛成）

国民健康保険特別会計（第３号）
２１７万９千円追加
総額
10億６千３３７万４千円
一般被保険者療養給付費・一般被保険者高額療養費の増額によるもの
（全員賛成）

老人保健特別会計（第２号）
１５５万６千円減額
総額
２１万８千円
１款から４款・６款を全額減額し５款繰越金のみ歳入とするもの（全員賛成）

簡易水道事業特別会計（第１号）
４８９万円追加
総額
１億１千６４万円
前年度からの繰越金を予算化
１千２８１万６千増額
（全員賛成）

農業集落排水事業特別会計（第２号）
１千６０２万７千円減額
総額
３億３千２０万４千円
一般会計繰入金の減によるもの
（全員賛成）

介護保険特別会計（第２号）
１千２５４万６千円減額
総額
５億７千２０３万８千円
前年度繰越金の予算化による
（全員賛成）

後期高齢者医療特別会計（第２号）
１４３万７千減額
総額
６千７００万４千円
保険料の確定により特別徴収保険料によるもの
（全員賛成）

「臨時会」

１月19日平成23年第１回臨時会が開催され議案３件が提案され、すべて原案のとおり可決されました。

人事

昭和村教育委員会委員
倉沢つかささん（再任）
（全員賛成）

入原上組

昭和村教育委員会委員
萩原寿子（ひさこ）さん（新任）
（全員賛成）

滝寺

し教育委員会委員としてご活躍を期待いたします。

補正予算

一般会計補正予算（６号）
２７３万３千円を追加し総額38億４７１５万５千円とするものです。
（全員賛成）

補正の主な内容
歳入は、県支出金及び財政調整基金からの繰り入れです。
歳出は、医師会との調整がついたため子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児肺炎球菌ワクチン等の予防接種委託料です。また、火災発生件数の増加等により、消防費を増額するものです。
高度多様化する教育行政の中で、豊富な経験を生か

グループホーム「星のふる村」完成

総務民生常任委員会

3月8日に行われた総務民生常任委員会では、付託案件等について慎重審議しました。

はじめに、中野地区に建設されていますグループホーム「星のふる村」、続いて子育て保育園・東京電力伏田発電所水路の消火用取水口・昭和中に設置された防犯カメラの作動状況等について現地調査を行い、その後付託案件について慎重審議しました。

開所に向けて準備が進む「星のふる村」

平成23年度一般会計予算・特別会計予算について、全般にわたって質疑を行い、採決では、一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算については、いずれも賛成多数により可決すべきものと決定しました。

また、請願陳情では、公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため、「公契約条例」の制定を求める請願は、内容を検討した結果、全国的に見ても条例を制定した自治体は少なく、財政とも関連することであり、もう少し時間をかけて調査し検討する必要があるとの意見が多く、引き続き調査検討を行うとの理由により、全会一致で継続審査としました。

続いて、公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約法」の制定に関する意見書の採択を求める請願は、前の請願と内容が同様であり、この件についても全会一致で継続審査としました。

東京電力伏田発電所水路の消火用取水口の閉塞については、東京電力より水路の強度や維持管理上の関係から閉塞したいとの申し出があり、現地調査をし検討した結果、現在ほとんど使われていませんでした。また、流れが速く取水が難しく、付近の消火栓整備が進んでいる等により、閉塞に向けて地元の消防団や区長さんをはじめ役員さん達とよく協議して対応していく事になりました。

グループホーム「星のふる村」の状況は、現在施設の工事はほぼ完成し、5月1日の開所に向けて準備中との事です。全室個室であり入所予定者は9人です。地域密着型のグループホームで、昭和村を中心として有効に利用されることが期待されます。

みなさんからの請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
5	H23.2.22	請願書　公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約条例」の制定を求める請願	利根沼田労働組合会議 議長　加藤　貴	林　幸司	総務民生	継続審査

23年度より小学校の外国語教育が一斉にスタート

文教産建常任委員会

３月９日に行われた文教産建常任委員会では、付託された平成23年度予算について審査をするとともに、小学校における図書の整備状況や道路等について現地精査しました。

大河原小学校図書室の状況調査

本委員会に付託された平成23年度一般会計予算・簡易水道事業特別会計予算・農業集落排水事業特別会計予算について慎重審議した結果、いずれも全会一致により原案のとおり可決すべきものと決定しました。

活字離れが進んでいると言われている中、各学校における図書の充実は大変重要です。学校では図書の整備に努めているとの事です。指定寄附等を有効に活用し、各学校では新書等も多くあり、児童の利用も多く見受けられました。読書は心を育てるのに有効だと言われており、また読解力は学習の基礎であり、今後とも読書活動の推進及び学校図書の整備・充実が必要です。

平成23年度は小学校５・６年生の高学年が対象になり、年間35時数の授業が確保され英語教育が始まります。先生はこれまでなかった英語教育に不安があると思いますが、昭和村ではＡＬＴが全ての授業に入ると聞きました。グローバル化する社会において英語の必要性は年々増加してきており、この変更を良い機会とし、実りある英語教育にしていただきたいと思います。

平成22年度から村内各学校に防犯カメラの設置が始まりました。委員会では南小学校に設置した防犯カメラの位置、モニターによる撮影範囲等を確認しました。また、未設置校においても順次設置し、これを上手く活用し、犯罪防止に努めてほしいと思います。

学校給食費について、保護者の御理解と関係各位の努力により、２年連続して完納されたとの事です。これからも引き続き完納となりますよう協力をお願いいたします。

東北地方太平洋沖地震による被害の大きさに驚くばかりですが、昭和村でも災害復旧費を計上し、災害時に迅速に対応できるよう備えておりますが、この予算が執行されない事を願うものです。

みなさんからの請願・陳情

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者の住所・氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
6	H23.2.22	請願書　公契約に係る事業の質の確保及び当該事業に従事する労働者の雇用の安定と適正な賃金・労働条件の確保を図るため「公契約法」の制定に関する意見書の採択を求める請願	利根沼田労働組合会議 議長　加藤　貴	林　幸司	総務民生	継続審査

一般質問

芝生広場のけやき移植工事について

角田　茂 議員

問　ふれあいグリーパークの芝生広場に㈱治田造園より８本ケヤキの寄附があり、その移植工事を請負金額３８０万円で随意契約で発注しました。１年も経たずに３本が枯れてしまいました。随意契約により植え替えを指示しなければならないのに、そのまま放置されております。村民の血税「47万５千円×３本＝１４２万５千円」の損害は誰の責任なのか。

　この多大なる金額は、１か月約12万３千円の給料の人が飲まず食わずに１年間働いていただく収入の金額です。私たちは、「村民の生命と財産を守る」義務があります。速やかにこの血税である公金の返還を強く村長に求めます。

答　村　長

　ご質問のケヤキについてお答えいたします。芝生公園東側に植栽されましたが、その後３本が枯れてしまい伐採処理して現在に至っております。また、対策として切り株の処理をして植栽の方向で検討しておりますのでよろしくお願いします。

八ツ場ダム建設について

問　八ツ場ダムの問題についてお尋ねいたします。今政界で議論されております「死の川」と言われる吾妻川に、なぜダムを造るのか。毎日何㌧もの中和剤「石灰」を入れなければ、蛙１匹住めない水。また、雨が降り上流に貯まった汚泥が一気に流れ出せば、汚泥の中に含まれている基準の２００倍ものヒ素が流れ出すとの事です。この様な死の川の水を、大澤知事を始め東京都知事の皆さんは、都民・県民に飲ませるのか。まず自分で飲んでからダムを造ってください。村長のお考えをお聞かせください。

答　村　長

　八ツ場ダムについて政治家の利権争いは私には分かりませんが八ツ場ダム建設については色々な問題があり私としましては県町村会の理事でもありますのでダム建設を推進に関する決議に沿っていきたいと思いますのでよろしくお願いします。

文化財指定について

横坂　先夫 議員

問　昭和村の神社仏閣39ある中の神社分布の30について質問させていただきます。

　指定文化財一覧では、県指定、村指定合わせて21ありますが、神社と名の付くのは３つだけ指定を受けています。指定を受けるのにはどうするのか、また誰が指定するのか答弁をお願いします。

答　村　長

　村では、平成14年度に特定非営利法人の街、建築、文化再生集団に「昭和村の社寺調査業務委託」を行い、村内30の神社を調査した報告書があります。

　そのうちの、村指定の文化財につきましては、武尊神社舞い殿が昭和54年３月に、小高神社神楽殿が平成10年６月に重要文化財として指定され、永井太々神楽が平成４年

姿勢を問う

9月に重要無形民俗文化財に指定されています。

文化財の指定につきましては、昭和村文化財保護条例により「教育委員会は、重要なものは指定できる」とされています。

郡民体育大会の再開を望む

問 利根郡民体育大会の再開を望みたいと思います。

答 教育長

利根郡2町6村で、昭和36年より月夜野町を皮切りに建制順に開催されておりました。

昭和58年の第21回大会は、群馬県で国民体育大会が開催されたため中止になりましたが、翌年の昭和59年から平成15年まで引き続き開催され、昭和村は第1回の総合優勝を機に毎年、上位の成績を収めました。これが、スポーツが盛んな昭和村の起爆剤となった一つの要因であると考えています。

利根郡は2町6村から1町3村となり、郡民体育大会が開催されていた当時と町村の構成なども変わっており、現在行われている競技部主体の大会を含め、利根郡民体育大会のあり方について、町村の動向を勘案しながら、今後研究して参りたいと考えています。

環太平洋連携協定（TPP）問題について

加藤　生 議員

問 TPPに参加すると群馬県の農業に対する損失額は35％減少し、その中でも特に本村の主力作物である、蒟蒻芋においては113億円から90％減の11億円、生乳は50億円、牛肉34億円減と試算されています。昭和村での農家所得への影響額についての試算額はいくらになるのか。

村の基幹産業である農業を守って行く為のTPP参加阻止の為の具体的な考えは、また農工商バランスの取れた発展の考えをお聞かせ願いたい。

答 村長

本村独自の影響額の試算はしてないが、蒟蒻栽培が減れば野菜栽培へ移行し野菜の供給過剰が生じ、野菜についても影響は図りしれないものと懸念しています。

TPP参加阻止のための具体的な考えですが、国民の声として多くの団体・個人が断固反対の意志を伝えることがTPP阻止に繋がると考えています。昭和村農業委員会でも全国農業会議所、群馬県農業会議の要請により、交渉参加反対署名活動が開始され、新聞報道でも、全国各地において、各種団体による反対運動が大きな流れになってきたと感じています。しかし、農業関係機関が中心となった反対行動であり、十分な行動には至っておらず、TPP参加により地域経済を崩壊に導くものと考えています。

農工商の発展について、商業は沼田に隣接しているため購買力の流出が大きく、小規模な個人経営が中心であるが、今後も交流人口を増やすことにより地域商業の振興に努めていきたいと考えています。

工業については、今後も三つの工業用地を中心に、企業誘致をしていく考えであり、農産物の生産や農産物に付加価値をつける加工、販売を促進するため農業者、商工業者による一体的取組みと連携が、農工商の発展に繋がるものと考えています。また、道の駅「あぐりーむ昭和」を基盤として、農業と商工業が連携を図り、なお一層地域振興が図られますよう、鋭意努力し

一般質問

ていきたいと思います。

減少していく村の人口について

問 年々減少していく村の人口について、優良企業の進出があり雇用の場が確保されている現在でも現実は年々人口は減少しています。新たに定住できる環境また住宅事情や空きや住宅の斡旋の実態、また村で補助をしている住宅補助金の申請は平成12年度からの10年間を見ると減少しているが、これらに対する新たな施策の企画立案はあるのかお聞かせ願いたい。

答 村長

特に昭和村の将来を担う若者の定住化を中心に、対策を講じることは必要不可欠であると思います。雇用の安定のための施策、定住化促進のための借り上げ住宅事業、土地・空きやの情報提供などの取り組みを行っているが空き家を探している方が多い反面、村として紹介できる物件が少なく、村での住宅建設のほとんどは、村内在住者の縁故者であり、村外者の建築については、日立の別荘地をのぞくとごくわずかであります。

住宅用地としての売り地があまりなく、新たに住宅用地になりうる田畑については農地法の問題も原因の一つであると思います。

小中学校の児童生徒の学力向上について

問 最近の子どもたちは活字離れが進んでいると言われています。本を読み頭の中で想像し、文中何を伝えたいのか等読解力を鍛えるための指導は。

また、4月から小学校で外国語を教えることが文科省で決まりました。この授業に対しての対応は、万全なのかお聞かせ願いたい。

答 教育長

読解力の向上について、学力調査によれば日本の子どもたちは読解力や記述式の問題に課題があることが指摘されています。本村の子どもたちも、読むことに落ち込みが見られ、テレビゲームなどの影響があると思います。読解力は全ての学習の基礎であり、子どもたちの読解力を高めることは極めて重要なことであります。本や新聞など活字に接し、読書に親しむことが読解力を向上させる上で極めて有効であることが明らかになっております。

また読書は心を育てる上でも大切であります。学校では読書活動の推進に力をいれて取り組んでおります。その結果図書室を利用する子どもが多くなり着実に成果は上がってきています。

より一層の読書活動の推進に向けて学校図書の整備、充実に努力して行きたいと考えています。

小学校への英語必修化についてコミュニケーションへの積極的な態度の育成や、国際感覚の基盤を培うことを目的として、小学校高学年に英語活動が導入されることになりました。4月から本格実施になります。

また本村の小学校英語教育については、平成14年から外国語指導助手が配置され学級担任と一緒に授業が実施されており、また、平成19年・20年度の2カ年、東小学校が文科省の委託事業として、「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」の拠点校の指定を受け実践に取り組み南小、大河原小の先生方も英語活動の指導のあり方についての研修を深めていますので、4月から本格的に実施されます英語の授業もスムーズに行われるものと思っています。

有害鳥獣による農作物への被害対策は

星野　吉一 議員

問 鹿やイノシシ等による農作物への被害が増えています。補助事業や個人等による対策を講じているが被害は増大しています。猟友会の人達が捕獲を実施している

姿勢を問う

が、会員数も少なく大変な状態です。
　ワナ免許を多くの人達が取っておりますので、今後この人達を指導し、多くの人の参加できる組織を立ち上げては。

答　村　長

　全国的に鳥獣被害が増大しており、熊を始めニホンカモシカ、ニホンシカ、イノシシ等による農作物の被害が発生しています。猟友会に委託し、年々捕獲数は増加しているが、被害防止に至っていません。ニホンカモシカに於いては許可を得て21年度7頭、22年度15頭捕獲する事ができました。猟友会の協力を得て効果的な取り組みを検討して行きたいと思っています。
　ワナ免許をかなりの人が取っており、協議会結成について協議した中で実施していければと思っています。

消防団の定数について

問

　村の防災を背負っている消防団が日本消防協会特別賞を受賞され、おめでとうございます。
　若い人の減少や村外への勤めなどにより後継者が少なく団員の確保に苦労していますが、定数の改定を考えているのか。
　ＯＢによる自警団や地区の支援など協力を得て活動しているが、まだまだ団員や役員の負担は大きいものがありますので、分団活動への補助金の増額を求めます。

答　村　長

　若年層の減少や勤務形態等で新入団員の確保は年々厳しくなっています。平成15年「消防団再編成等審議会」で審議したが、各分団から現状維持の要望が多く現在に至っています。
　団員確保の困難な分団は自警団を組織し、消防力の確保に協力いただいている。団活動の支援については十分協議をしていきたいと思います。
　自警団、団員の苦労を減らす様協議し変えていきたいと思います。

大震災の教訓から、命を守る住宅改修へ助成を

林　幸司 議員

問

　被災者にお見舞い申し上げ、被害者のご冥福をお祈り申し上げます。
　大震災の教訓から、住民の命を守るため、国の社会資本整備総合交付金（補助率45％）を活用し、住宅の耐震化や養蚕古民家保存にも役立つ「住宅リフォーム助成制度」の実施を求めます。

答　村　長

　耐震改修補助は県内6市町村が実施。「減災」の取り組みは非常に重要な施策と認識しています。東日本大震災も考慮した中で検討していきたいと思います。
　文化的価値のある養蚕古民家が４００戸以上残っているという自然景観を次世代に伝えていくことは、私たちの使命であり、景観法に基づく景観条例や景観計画を策定し、景観行政団体に登録されれば地域の特性を生かした独自誘導策ができるようになります。十分研究して参りたいと思います。
　一般住宅リフォーム助成制度は、県内では7市町村、全国的にも広まりつつある事業であると認識しており、村民に喜ばれるような施策をしていきたいと思っています。

国保の全県広域化に反対を

問

　全国知事会は「財政運営を都道府県に移しても巨大な赤字団体をつくるだけであり反対である」とし

姿勢で問う 一般質問

ています。村長として、国保広域化に反対するよう求めます。

答 **村　長**

現状改善への期待もあり、国保運営協議会で検討して参りたいと思います。

玉村町に学び自治基本条例の制定を

問

友好関係がすすんでいる玉村町に学び、交際費の使途、公共事業の予定や結果、議会議事録などをHPで公開するとともに、「自治基本条例」の制定を求めます。

答 **村　長**

業者委託が多いなかで、本村では、職員が手作りでHPをつくっています。

自治基本条例は、条例の憲法ともいえる、上位に位置するもので、重要だと認識しており、検討して参りたいと思います。

マラソン大会の企画について

兵藤　喜孝 議員

問

昭和村はとてもスポーツが盛んで活発な村だと思います。村内の人は、スポーツが好きで付き合いが良く、そして仲間意識が強く私が小さいころから、村内バレーボール大会、ピンポンフェスティバルがこれだけ長く続いていて、参加者も多いことで村外でも有名です。本当に素晴らしいことだと思います。しかしここへきて、スポーツへの参加が減ってきているのも現実です。その理由として、人口が減っていること、付き合いを重んじている年代の人達の高齢化で不参加になり、みんな仕事が忙しい時代の中、参加人数が減っていることが原因だと思います。今の時代にあった改革や新しいことを起こしていかなければ、村が元気であり続けられなくなります。若い人達は、想像力もアイディアもあります。そしてみんなで楽しくスポーツがしたいのではないでしょうか。村外の人と交流をしたがっています。刺激がほしいのです。これからは若い人達が、次世代の昭和村を守る大切な人達なのです。

今のスポーツイベントは変わり目の時なのです。若い人達の意見を取り入れ、企画をもう一度練り直して、新たな企画を考えるなど、スポーツの大会を考え直してもらいたいです。若い人がつまらないと、参加をしないのが気になります。そういう気持ちになるのは、やはり外からの人達が参加出来る大会が少ないからです。今までは参加資格は、村内在住者又は、勤務されている方に限られています。今後は、村外の人に昭和村の良さを知ってもらうことと、健康作り、子どもたちのためのスポーツ教育の一環として、現在建設中の「道の駅」完成事業として村外の人も参加できるマラソン大会を企画してはいかがでしょうか。私の思うマラソン大会、8カ条案をいいますと、①楽しいマラソン大会②アイディアに満ちあふれたマラソン大会③村民が参加してくれるマラソン大会④外部の人達と交流のあるマラソン大会⑤お金もおいていってくれるようなマラソン大会⑥あまり準備・負担のかからないマラソン大会⑦村はやっぱりすごいなと思われる元気のいいマラソン大会⑧最後に平和なマラソン大会。以上そして私も出来る協力をしますので、道の駅完成事業として来年度内に長く続けていけるマラソン大会を開催してはいかがでしょうか。ぜひお願いいたします。

答 **村　長**

「マラソン大会の企画について」のご質問に、お答えをいたします。

今後、村内の関係者や関係団体と協議をし、兵藤議員さんの8カ条を十分参考にして現在建設中である「道の駅」の完成を記念したイベントの中で、マラソン大会が可能なのかどうかにつきましても、十分検討させていただきますので、よろしくお願いをいたします。

原発災害に伴う農畜産物の出荷停止措置及び
ＴＰＰ交渉参加阻止に対する

要望書を県選出国会議員へ提出しました

東北地方太平洋沖地震に於いて被災された皆様に対し議員一同心よりお見舞い申し上げます。

昭和村は美しい景観の基耕地整備された畑地帯が広がる日本でも有数の農業村であり意欲ある農業者が農業農村という掛け替えのない財産を次の世代に手渡せるよう経営の確立、安全安心な農畜産物の生産に向け懸命に取り組んでいる中、今回の災害やＴＰＰ問題は農村の存亡にも関わる重大な問題です。

３月29日昭和村議会議員・昭和村農業委員会委員全員参加により、国会議員会館を訪問し県選出の国会議員14名に対して、原子力発電所災害に伴う農畜産物の出荷停止措置等に関する要望書及びＴＰＰ（環太平洋経済連携協定）への交渉参加検討に関する要望書を提出いたしました。

原子力発電所災害に関する要望書の主な内容

一、出荷停止等の被害を受けた生産者や関係事業者及び出荷自粛した農畜産物等に対して万全の補償を行うこと。

二、正確な情報の元に早期出荷が再開されるよう尽力すること。また、制限を解除した場合には、消費者等に対し正確な情報提供と広報に努めること。

三、出荷停止対象以外の農畜産物についても受託拒否などの風評被害が生じている。消費者及び関係者等に正確な情報を提供し、風評被害の発生しないよう措置すること。また風評被害による価格下落等に対しても補償を行うこと。

ＴＰＰに関する要望書の主な内容

一、関税の撤廃が原則であるＴＰＰ交渉への参加は、国内農業や地域社会に大きな影響を及ぼすばかりでなく、食料事情を極めて危険な状況に追い込み、食料安全保障の観点から国の存続までも危うくする可能性が高いため参加しないこと。

二、今後の国際貿易交渉に際しては、食料の安全保障の確保や農業の持つ多面的機能を考慮し、国の基本方針を堅持すると伴に、食の安全・安定供給、食糧自給率の向上及び農業・農村の振興などを損なわないよう対応すること。

佐田玄一郎衆議院議員に要望書を提出

中曽根弘文参議院議員に要望書を提出

山形県尾花沢市
議会広報委員会が来村

1月27日、尾花沢市議会広報委員7名が議会だよりの視察研修で来村し、議会広報の勉強と情報交換を行いました。

尾花沢市は、銀山温泉や徳良湖温泉等有名な温泉のある市です。徳良湖は灌漑用水湖として大正10年に完成した人造湖。2年あまりの工事の際、作業唄として唄われた「花笠音頭」があり、歌に合わせて菅笠を回して踊ったのが「花笠踊り」の始まりとなりました。

広報は平成22年10月で67号を発行したとの事です。

昭和村議会広報編集委員は、12月の議員改選により新人広報委員が就任し初めて議会だよりを発行してまもない受け入れでしたが、広報について多くの情報交換が行われ私たちにも大いに参考になりました。

また、その他で議会改革等の意見交換もあり、短い時間でしたが有意義な交流となりました。

静岡県田方郡函南町
議会だより編集委員会及び議会運営委員会が来村

1月26日、函南町議会議会だより編集委員8名と議会運営委員7名が議会だよりの編集及び議会運営についての視察研修で来村し、これ等の勉強と情報交換を行いました。

函南町議会広報は、平成22年11月に第139号を発行、昭和村議会広報は、今回が59号です。

函南町議会広報、昭和村議会広報も議員が自分達の手で編集する議会だよりにすべく努力をしています。

「議会運営について」

函南町議会運営委員会において「議会改革」についての検討が進められており一般質問の制限時間を90分間から60分間へ変更。また議員定数については、18名から16名へと削減し、平成23年4月の統一地方選から施行されます。このように議会運営委員会では議会改革に向け活発に活動、討議されているそうです。昭和村も議会基本条例の制定等議会改革に向け議論を深めていく必要があると思います。

玉村町議会と町村交流について意見交換を行う

2月14日、議員全員で玉村町を訪問し、玉村町議会と町村間の交流について意見交換を行いました。玉村町は人口3万8千人弱、平坦な土地であり、昭和村と全く環境が違いますが、違うからこそ交流によるメリットもあると思います。今後交流の幅を広げ友好関係構築について議論を深めていきたいと思います。

また、午後は町内3カ所を視察しました。県央水質浄化センターの関係市町村は前橋市を初め6市8町5村で構成、昭和62年に供用が開始され、市町村の合併により現在10市町村の汚水を処理しています。

群馬県食肉卸売市場では、搬入される豚や牛は生産者より各農協を通して出荷されます。それを衛生的に処理し、計量、格付けし競り販売により買い受け人に引き取られているとの事です。

群馬県立女子大では、大学の取り組みとして12科目の公開授業をラインナップ。09年は延べ3千人の県民の方々が受講され、大変盛況だとの事です。

この玉村町訪問が2町村間において友好関係構築の第一歩としていきたいと思います。

玉村町議会と意見交換

追跡シリーズ 15

あの問題は今…

森林公園用地（千年の森）の利用状況は

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

問 取得整備事業として５か年計画を策定して平成11年度の地域総合整備事業債（起債の償還は12年）で購入した森林公園用地（千年の森）の現在の利用状況は？

その後

千年の森利用状況につきましては、2007年６月「千年の森スポーツセンター　Ｊ－ｗｉｎｇｓ」がオープンし、サッカーを主体としたスポーツ、地域交流の拠点として事業展開しているところです。

その年の８月には、イビツァ・オシム元全日本監督が訪れ、サッカー教室やチャリティー講演会を開催しました。

昨年度は、障害者を対象としたサッカー教室も開催し、サッカーを通して昭和村の子ども達を始め、年間約17,000人の方々が昭和村を訪れ交流人口も年々増えております。

また、道路新設改良事業として村道横道下中坂線が開通し、大型バスや大型車両の進入も可能となりました。

さらに、豊かな自然環境の中で新たな事業展開を望む企業の進出を目指した「千年の森工業団地」や、環境に配慮して植樹を行い、森林として再生する整備もされました。

このように千年の森は村の活性化にも繋がる貴重な財産として生まれ変わりました。千年の森は、サッカーに親しむ子どもから、高齢者の健康づくりのための施設に至るまで多岐にわたり、村内外からの利用者が期待されます。

千年の森が今後も多くの方に親しまれながら活用していただきます事を心より願います。

千年の森サッカー場

聞きたい、知りたい
みんなの声

文化協会

文化とは地域に根ざした活動

会　長
林　信保さん

この度議会だよりに文化協会を紹介して頂きありがとうございます。現在文化協会は54団体で構成し、各部毎に活動を続けています。

文化協会の事業は3つの行事を柱に取り組んでいます。1つ目は3月に行う芸能祭、2つ目は10月に行う歴史探訪の旅、3つ目は11月23日に行う文化祭です。

文化協会も今年で30周年を迎え、長い歴史を持つ団体となりました。活動を続ける中で、新しく加入する団体も増えていますが、若い後継者育成という大きな問題を抱えています。

これからも先輩達の残してくれた伝統文化を守り、日本一美しい昭和村に文化という美しい花を咲かせ続けるため、会員一同頑張って参ります。

文化とは、地域に根ざした仲間づくりと考え取り組んで参ります。今後とも村民皆様のご指導ご協力を心よりお願いし、多くの皆様の当協会へのご加入をお待ちし、紹介に代えさせていただきます。有難うございました。

昭和村囲碁会

角田　勝美さん

昭和村囲碁会では、年2回8月と2月に大会を開催しています。

村外の方にも呼びかけ、一段と広域の交流が図られるよう実施しています。

従って、この大会を通して世代を越えての交流や、お互いの棋力の向上を図っています。

囲碁は考えながら行うゲームです。これが、頭の運動になり、認知症予防にも繋がるものと考えています。

ただ、囲碁は座って競技を行うため、運動不足を補うための適切な運動を取り入れる事が大切であると思います。

盆栽愛好会

青木　俊博さん

沼田の会と合同で東京上野へ国風盆栽展見学……2月
栃木県鹿沼へさつき展見学…6月
昭和村独自で埼玉県へ視察…10月
針金かけ講習会……3月
植えかえ講習会……4月

このほか、温泉センターで6月にさつき展示会、11月に盆栽展示会を行いました。

また、2月26日から27日まで、沼田グリーンベル21で行われた利根沼田地域文化フェスティバルで盆栽展示をしました。

今年も6月に、栃木県鹿沼市のさつき展示会を見学に行く予定です。

太極拳クラブ孫悟空

澤浦　茂美さん

太極拳クラブ孫悟空は、平成17年より坂田節子先生ご指導のもと、週1回8人で太極拳をしています。

昨年目標にしていた芸能祭に初めて参加させていただき大興奮、緊張しましたが大変勉強になりました。10月には昭和中の文化祭体験講座で、講師依頼を受けてメンバー全員で参加し、生徒さんと一緒に太極拳を楽しみました。大変貴重な経験が出来ました。

これからも楽しみながら練習を

続けて、新しい演目を一つでも多く覚えていきたいと思っています。

フラダンス（ハノハノ）

藤井　君枝さん

六十の手習いという年令で始めて三年目です。

会員の目標とするところは、フラダンスを通して足腰を鍛えたり、親睦を図ったりしながら、心身共に健康で楽しく元気に過ごしたいということです。

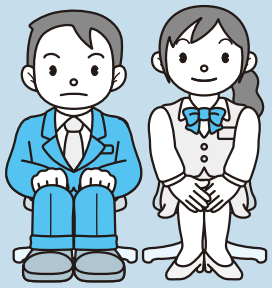
芸能祭は巨大地震等の大災害により中止になりましたが、私達は健康であることに感謝し、村内の福祉施設の慰問をしようと考えています。東北地方太平洋沖地震の被災地の皆様の無事を祈りつつ・・・・・・

議会を傍聴してみませんか？

昭和村議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題などを審議しています。

是非、村民の皆さんの傍聴をお待ちしております。

次の定例会は、６月を予定しています。



前議長の金子さんに自治功労賞

自治功労表彰
群馬県町村議会議長会表彰

前議長の金子松二郎さんが、地方自治の振興と、地域の発展及び住民福祉に貢献されたことから、群馬県町村議会議長会より表彰されました。

金子松二郎さん

議会の動き

1月

26日 ●静岡県函南町議会より行政視察

27日 ●山形県尾花沢市議会より行政視察

2月

4日 ●新議員研修

6日 ●ピンポンフェスティバル

14日 ●群馬県玉村町へ行政視察

15日 ●利根沼田学校組合議会議員協議会定例議長会

17日 ●議会運営委員会

19日 ●第17回昭和村生涯学習大会

21日 ●群馬県町村議長会定期総会

22日 ●広域圏組合議会定例会
利根沼田学校組合議会定例会
1市2箇村清掃施設組合議会定例会

23日 ●議会運営委員会
議会広報編集特別委員会

3月

1日 ●議会全員協議会

2日 ●フォトコンテスト審査委員会

3日 ●第2回昭和村議会定例会
本会議（初日）
議会全員協議会

4日 ●議会全員協議会

7日 ●本会議（2日目）
議会全員協議会
議会運営委員会

8日 ●総務民生常任委員会

9日 ●文教産建常任委員会

10日 ●議会全員協議会
議会運営委員会

11日 ●昭和中学校卒業式
本会議（3日目）

14日 ●本会議（最終日）
昭和中学校海外派遣推進委員会

15日 ●議会広報編集特別委員会

24日 ●村内各小学校卒業式
土地開発公社理事会

26日 ●村内各保育園卒園式

28日 ●第5回社会福祉協議会理事会
家族経営協定調印式

29日 ●県選出国会議員訪問

4月

1日 ●第1回分団長会議
消防委員会

5日 ●村内各保育園入園式

6日 ●議会広報編集特別委員会
議会運営委員会

7日 ●昭和中学校入学式
村内各小学校入学式

13日 ●広域圏議会議員協議会
議会広報編集特別委員会

平成23年4月25日　発行／群馬県昭和村議会
〒379-1298 群馬県利根郡昭和村大字糸井388
編集／昭和村議会広報編集特別委員会　印刷／朝日印刷工業㈱
☎0278-24-5111　FAX0278-24-5254

シリーズ15

地域でがんばる人

還暦野球

前監督　高橋　雅俊さん（入原上組）

私は中学校の時野球部でした。三年の時県大会に出場したことがありますが、一回戦で負けてしまいました。高校に入り野球をしたかったのですが、野球部がなく、やむなく剣道部に入りました。

高校を卒業して郡民大会があり、昭和の選手として出場しました。三十年も出場しました。何年かして還暦野球に入り、最初はボールを投げるのがだめでした。最初から思いっきり投げたり走った人は、一年経たない内にだめになり部をやめていった人が何人もいました。最初は一勝する事がなかなかできませんでした。後でだんだん若い人が入ってきたので勝つ事ができるようになってきました。平成十六年には、北毛地区大会で初めて優勝する事が出来ました。

何年かして沼田の古希チームに入り、二十二年関東古希野球大会で準優勝する事が出来ました。チームの仲間や応援してくれた人に感謝します。

還暦野球チーム

春の健康ちょこっとレシピ

（昭和村管理栄養士 丸山智恵子）

旬のアスパラと鶏バター炒め

材料（２人分）

アスパラガス …６本（約200g）、人参…30ｇ、鶏もも肉…１枚（約250g）、片栗粉…適量、バター…10ｇ、●しょうゆ…大さじ２（36g）、●みりん…大さじ２（36g）、サラダ油…大さじ１（13g）

作り方

①アスパラは食べやすい大きさに斜め切りにする。
人参は皮をむいて短冊切りにする。
鶏肉は一口大に切る。
ビニール袋に鶏肉と片栗粉を入れ、よく振ってまぶしておく。

②フライパンに油をひき、鶏肉を入れて両面をこんがりキツネ色になるまで焼く。焼けたら一旦皿に移し、油を切っておく。

③フライパンの余分な油を拭き取り、バターを入れアスパラと人参を入れて炒める。アスパラと人参に火が通ったら、②の鶏肉を入れ、●の調味料を回し入れひと混ぜしたら出来上がり。

栄養価（１人分）

熱量…328kcal、たんぱく質…22ｇ、脂質…25.7ｇ
カルシウム…35g、鉄…1.4mg、塩分…2.8ｇ

ワンポイントアドバイス

・鶏肉につける片栗粉はつけすぎないようにしましょう。
・アスパラガスの代わりにブロッコリーでも美味しいです。

編集室から

議会定例会も順調に進み道の駅も決まり、11日の議会も何事もなく終了すると思っていたところ、議会半ば突然の大地震により東北関東一円を一瞬の内に火と水で破壊し、人々を地獄絵の中に引きずり込みました。

日本国始まって以来の未曾有の災害に、また自然の怒りの前に人間の非力さを様々と見せつけられた思いがしました。災害にあった人達、その人達を我が身も省みず救助する人達に心から感謝し、一日も早く立ち直る事を陰ながら応援しています。

昭和村民が、末代まで幸福に暮らせるよう議会でも役に立てる事を考えています。

議会だよりを通し、この大震災に於ける皆様のご支援をお願いします。

角田　茂記

議会広報編集特別委員会
委員長　星野　吉一
副委員長　加藤　生
委員　横坂　先夫　角田　茂
加藤　美昭　兵藤　喜孝
髙橋幸一郎　藤井　富夫